

3. 北関東（地域別調査機関：（株）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明	
家計 動向 関連 (北関東)	良く なっている	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・来客数が前年同月比で2割伸びている。	
		商店街(代表 者)	単価の動き	・今年単価が上がっているランドセルが例年より早く売れだしている。このまま推移するとは思わないが、確実に前年とは違ってきている。	
	やや良く なっている	商店街(代表 者)	来客数の動き	・一般客は増えていると感じないが、大河ドラマ放映決定の影響が大きく、目に見えて観光客が増加している。	
		一般小売店[家 電](経営者)	来客数の動き	・秋になり、秋のイベント等への客の関心が高く、出足も良く感じられる。	
		百貨店(営業担 当)	お客様の様子	・消費税増税から一段落したということで、購買について、慎重ではあるが増税直後よりは若干緩んできたような気がしている。	
		百貨店(店長)	販売量の動き	・前年と比べて気温が早く下がり、天候の良い日が多かったことから、消費税増税の影響を感じさせないくらい秋物衣料の動きが早く、イベントなどの集客も好調である。	
		スーパー(総務 担当)	販売量の動き	・売上は前年より悪い状況ながらも徐々に改善傾向にある。	
		スーパー(統 括)	販売量の動き	・昨年は16日あった真夏日が今年は3日と、過ごしやすい天候が続いたため、衣料品は秋物が好調に推移し、既存店売上は前年同月比を7.9%上回るレベルとなっている。食品も4.0%増と秋物商材を中心に堅調な推移となっている。	
		スーパー(商品 部担当)	販売量の動き	・天候不順により来客数の伸び悩みはあるものの、既存店における売上は順調に推移している。特に、消費税増税後の基礎調味料関係が回復傾向にある。	
		コンビニ(経営 者)	来客数の動き	・前年比で売上が100%、来客数が102%と微増である。	
		乗用車販売店 (販売担当)	来客数の動き	・以前と比べ、イベントへの来客数が圧倒的に多くなっている。販売は決まるか決まらないかであるが、残る客が多いので良くなっている。	
		自動車備品販売 店(経営者)	販売量の動き	・9月中はそれまでと比べて来客数、車の販売量がやや増えている。消費税増税後は予想以上に車が売れなかったが、少し戻り加減にある。	
		観光型旅館(経 営者)	販売量の動き	・春から夏にかけて、徐々に客の動きが良くなっている。	
		都市型ホテル (副支配人)	来客数の動き	・9月は個人客メインであるが比較的好調に推移している。前年が悪すぎたので、伸びているというよりも従来の数値に戻ったと言える。	
		旅行代理店(所 長)	来客数の動き	・夏季シーズン等については、猛暑などの天候不順で伸び悩んでいたが、天候も落ち着いてきているため、邦人、外国人共に来訪客が伸びてきている。	
		テーマパーク (職員)	来客数の動き	・台風や雨天、冷夏など、天候不順であった夏に比べて今月は落ち着いた天候であることや、3連休に台風が襲来するなど不安定な天候であった前年を考えると、良くなっている。	
		ゴルフ場(支配 人)	来客数の動き	・天候不順な月であったが、地元客が多いためキャンセルは少なかった。予算にも達成し、コンペ予約は多くなったが、客単価の低下が顕著である。	
		変わらない	商店街(代表 者)	販売量の動き	・平日も休日も街に人影が少なく、中心街の面影もない。低迷はしているも、売上が何とか前年並みになったのが、せめてもの救いである。
			一般小売店[精 肉](経営者)	お客様の様子	・秋の気配がして気温が下がってきており、人の動きが良くなるはずだが、曇りや雨が多く街中は静かである。敬老の日や彼岸の行事も低調である。野菜の値上がりや足を引っ張っているのではないが。
			一般小売店[青 果](店長)	単価の動き	・8月から9月にかけて野菜がすごい勢いで高騰した。業者によっては冷凍野菜に切り替えるところも多く、一般の客も値段が高くて買えないという状態である。
百貨店(販売促 進担当)	販売量の動き		・消費税増税による反動減の影響は、徐々に解消しつつある。天候、気温に恵まれ、婦人アパレル等、好調に推移している商品群もあるが、トータルでは前年割れの状況である。		
百貨店(販売促 進担当)	販売量の動き		・前年に比べ気温がやや低めに推移しており衣料品が好調である。一方、食品、寝具や食器などの家庭用品は不振、トータルでは3か月前とあまり変わらない。		

コンビニ（経営者）	来客数の動き	・週末が割と天候に恵まれ、来店が増えて繁盛すると思っただ、思ったほど来店がなく、売上もあまり増えなかった。特に、飲料やプライベートブランド商品についてはあまり増えていない。
コンビニ（経営者）	販売量の動き	・コンビニ全体でたばこ、ソフトドリンクが前年割れとなっている。たばこは前年比95%と大きく下回っており、消費税増税やカウンター周りの商材が増えてセルフ販売でなくなったことなどが要因とされている。宅配サービスについては確実に利用客が増えている。買物難民というよりは、便利だから利用しているといった感じである。
コンビニ（店長）	それ以外	・近隣で工事があったため、今月はいつもと比べて少し良くない状況である。
乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・消費税増税後の反動減は薄らいできているというが、当業界では正直そうは思えない。生活に密着しながらも高額であるがゆえに客がなかなか踏み切れないと強く感じている。
乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・大規模小売店への来客数はあるようだが、街の小売店は老舗でも苦戦しているところが多い。ならずと景気は変わらないのかもしれない。
乗用車販売店（経営者）	競争相手の様子	・中古車の売行きは低価格の軽自動車を中心に、高額な車は売れない状態が続いている。
乗用車販売店（販売担当）	販売量の動き	・消費税増税による駆け込み需要が終わってからは、新車、中古車共に低迷している。とにかく台数が出ないという言葉に尽きる。
住関連専門店（店長）	来客数の動き	・季節商材の販売が不振であった夏の時期に比べれば来客数は回復しているが、売上の伸びにつなげていない。
住関連専門店（仕入担当）	来客数の動き	・相変わらず来客数は微減傾向である。9月に入り比較的天候が安定しており、来客数の減少がなければ前年比でプラスになるところだが、要因が相殺され、悪い方向のままあまり変わらない状況である。
その他専門店〔燃料〕（従業員）	販売量の動き	・販売量はわずかに増えてきている。
一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・世間の評判とは逆にサービス業、特に飲食業の客単価は全く上がってきていない。
スナック（経営者）	来客数の動き	・来客数が少ない状態が続いている。宴会の流れも低調で、上向く気配がない。
都市型ホテル（営業担当）	販売量の動き	・ホテルの稼働状況をみると、景気としてはやや良くなっているが、前年同時期とほぼ同じ状況で変わらない。3か月前と比較しても状況的には変わらない。
旅行代理店（従業員）	お客様の様子	・為替変動が激しく、現地のホテル代などが上がり、利用しにくくなっている。
旅行代理店（副支店長）	お客様の様子	・夏季受注は前年を下回り、現在でも前年と同程度の受注量である。9月に入り秋の行楽シーズンでもあるが、旅行を申込み客が少ない。また、海外出張や旅行も少ない。
タクシー（経営者）	お客様の様子	・夜の動きは良くないが昼の動きが少し良くなり、前年同月と比べて5%の増収となっている。
タクシー（役員）	お客様の様子	・円安が進み燃料価格が上がっているため、先行きが不透明である。
通信会社（経営者）	お客様の様子	・新規加入件数よりも解約件数が上回り、なかなか改善が見られない。
通信会社（営業担当）	販売量の動き	・消費税増税の影響を受け、新築などの購入額が大きいものについては販売数が減少しており小康状態となっている。
通信会社（局長）	お客様の様子	・競争環境も厳しくなる中、出費を抑えようとする客の様子に変化はなく、景気も変わらない。むしろ、競争が厳しくなっている分、景気後退感を感じている。
競輪場（職員）	お客様の様子	・入場者数、購買単価共にほとんど変化がみられないからである。
美容室（経営者）	来客数の動き	・8～9月に独立した美容院が一気に10店舗くらい増加したが、その後の入店客数は計画どおり進んでおらず、客が入店していない状況が続いている。
その他サービス〔立体駐車場〕（従業員）	お客様の様子	・来客数は若干上向いているが、単価は横ばいである。予約状況等や各テナント会の報告を見ても数字は横ばいで、販売量、総売上も横ばいである。そのため変わらないと判断している。

	その他サービス [イベント企 画] (職員)	お客様の様子	・ 地方では景気回復を感じられない。
	設計事務所 (経 営者)	お客様の様子	・ 仕事の依頼数は多く、納期が延びてきている。
	設計事務所 (所 長)	来客数の動き	・ 3か月前と比べて案件は多少あるものの客の動きがあまり良くない。今月は行事が多いのか来客数も少ない。
	住宅販売会社 (経営者)	競争相手の様子	・ 土地についてはやや下げ止まってきたが、まだ物件の売り物が多いため、値下げ競争が続いている。貸店舗、貸家、アパート等の空室もまだ多く、家賃についても若干デフレが続いている。地方の景気はちっとも回復している様子がない。
やや悪く なっている	商店街 (代表 者)	来客数の動き	・ 客の来店サイクルが長くなっている。息子世代の家庭においてはレクリエーションや外食が減って生活に潤いや余裕がなく、消費を切り詰めているのがよく分かる。
	商店街 (代表 者)	お客様の様子	・ 秋の運動シーズンに入り、今年は大分悪いと思っていたらその割に前年同様の動きがあり、9月はまあまあである。
	百貨店 (店長)	お客様の様子	・ 衣料品はやや動き出したが、貴金属等の身の回り品、書籍の売行きが低迷している。食料品も安価な物に需要が集中している。
	スーパー (店 長)	販売量の動き	・ 冷夏に近い天候のため、例年9月も売れる盛夏商材の売行きが鈍い。周辺競合店を含め、値下げが多くなる見込みである。
	コンビニ (経 営者)	来客数の動き	・ 来客数が減少したまま1年近くになるが戻らない。
	衣料品専門店 (販売担当)	来客数の動き	・ 8月は悪かったが、9月に入り消費税増税にも幾分慣れや諦めが出てきたのか、初旬は客も入り良い雰囲気があった。ところが中旬以降は客の動きがぱたっと止まり、全く出て来なくなった。天候などの問題ではなく、どこか不安な要素があるという様子である。
	乗用車販売店 (経営者)	販売量の動き	・ 競合他社が新型車を出してきているため、9月の決算時期でも販売量の増加がない。
	乗用車販売店 (管理担当)	販売量の動き	・ 消費税増税以降、登録車の販売台数の低迷が続いており、軽自動車の販売台数は増加している。車検入庫も低価格車検を希望するユーザーが増加している。
	住関連専門店 (経営者)	販売量の動き	・ 付加価値的な商品の動向が芳しくない。必要な機能のある商品の中で安価な物にシフトしている。買上点数は減少傾向にある。
	高級レストラン (店長)	お客様の様子	・ 春ごろまでは少し明るい兆しを感じられていたが、8月終わりから今月にかけて急速に客の購買意欲が冷え込んでいる。
	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・ ランチの客数はそんなには減っていないものの、徐々に減りつつある。ディナー客は極端に少ないため、売上が伸びない状況である。
	一般レストラン (経営者)	単価の動き	・ 客単価が下がってきている。宴会需要も減っている。
	スナック (経 営者)	来客数の動き	・ 極端に暇な時と忙しい時の差があり、なかなか読めないため、仕入などが大変になっている。
	スナック (経 営者)	来客数の動き	・ あっという間のひと月であるが、9月は本当に良くない。アベノミクスは地方にはなかなか来ていない。どうしたらいいのか、良い答えがあったら教えてほしい。
	都市型ホテル (スタッフ)	来客数の動き	・ 大手企業については景気の良い話を聞くが、市内の中小企業は消費税増税の関係などもあり、皆財布のひもが固く、飲み会などは差し控えている状況である。駅周辺では、駅の改装工事や大きな立体駐車場など、いろいろな工事が目につくが、依然として景気はあまり良くない。
	タクシー運転手	お客様の様子	・ 地方では車がないと生活できない。飲み会など酒を飲む席に車で行く人が多く、今までは運転代行などが流行っていたが、飲みに行く人が少なくなったのか代行車が余っていて2社ほど営業をやめたようである。深夜なども相変わらずタクシーを利用する人が少ない。
	タクシー運転手	単価の動き	・ 夜のタクシーの動きがやや悪くなっている。
観光名所 (職 員)	来客数の動き	・ 台風の襲来、雨続きの冷夏で、この夏は過去数十年にさかのぼっても例のないほど少ない来客数になってしまった。	

	設計事務所（所長）	来客数の動き	・今月はほとんど問い合わせもない。
	住宅販売会社（従業員）	それ以外	・別荘を解約する顧客が増加傾向にある。
	住宅販売会社（経営者）	販売量の動き	・消費税増税の特需も落ち着き、新規顧客は動きが鈍い。
悪くなっている	一般小売店〔衣料〕（経営者）	販売量の動き	・台風などの影響がなかったのは良かったが、毎月悪くなるような感じで、経済的にはあまり良くはない。
	家電量販店（店長）	単価の動き	・昨年の9月は消費税増税前の駆け込み需要が始まった感があり、新築やリフォームの影響からエアコンの販売量が上がり、単価も10万円近かったが、今年は9万円近くまで下がり、金額比で70%を割り込んでいる。全体では90%前半の着地予想で景気は悪い。
	通信会社（経営者）	販売量の動き	・依然、東日本大震災後の低迷から回復せず、販売量は底を打ち続けている。
企業動向関連 (北関東)	良くなっている	その他製造業〔環境機器〕（経営者）	受注量や販売量の動き ・3つの本業の内、2つは相変わらず順調、現在の副業である太陽光発電も2つ目の0.5メガ発電について、大手電力会社と11月から連携がスタートすることが決定しているため、良くなっている。
	やや良くなっている	化学工業（経営者）	受注量や販売量の動き ・前年比では変わらないに近いが、3か月前と比較すればやや良くなっている。
	窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量、販売量共に微量ながら増加している。
	輸送用機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・主要取引先である自動車完成メーカーの輸出が増加傾向である。
	建設業（開発担当）	受注量や販売量の動き	・当社は公共工事主体の建設業だが、公共工事の発注額は前年比5%増、特に、市町村関係は10%増という地方企業には有難い状況で、当社の公共工事受注も前年比8%増となっている。ただし、相変わらずの競争入札で最低価格の受注が続いているため、以前に比べ利益が厳しい状況が続いている。
	建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・ようやく全般的に工事量は多くなってきたようである。
	広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・携帯電話や住宅などの宣伝広告出稿が活発化している。携帯電話は新機種、住宅は来年の更なる消費税増税に伴う販促が多い。
変わらない	食料品製造業（製造担当）	受注量や販売量の動き	・販売量はほぼ横ばいである。
	食料品製造業（営業統括）	取引先の様子	・原油価格高騰の影響で運送費など資材価格の値上がりが響き、原価の高騰は避けられない状況にある。また、来場者数は平年並みに推移している。
	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・取引先からの受注の動きが下降気味であるが、下期に期待している。
	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・大きな変化はない。試作から量産につながっていないのが残念である。
	精密機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・取引先からの大口受注により量的には相応の水準を確保したものの、全体的な受注件数は引き続き低迷しており、必ずしも右肩上がりといえるものではない。厳しい状況が続いている。
	輸送用機械器具製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・受注先、販売価格、取引先の様子、いずれもあまり変わらない。
	輸送業（営業担当）	取引先の様子	・9月に入り予測以上に涼しい日が続き、冬物の暖房器具家電や、エクステリア、園芸用品などの物量が増えている。特に、ホームセンター、インターネット通販向けが増えている。しかしながら燃料価格の高止まりにより、利益は薄くなっている。
	金融業（調査担当）	取引先の様子	・企業の景況感に格差が生じている。海外需要を取り込んでいる輸出企業で好調な企業がある一方、国内では消費税増税の影響が続き、回復が遅れている企業もある。
	金融業（経営企画担当）	取引先の様子	・一部の企業は売上が増加しているものの、大半は売上増につながっていない。
	金融業（役員）	受注価格や販売価格の動き	・市場のパイが少なくなり非常に競争が厳しくなっている。円安で原材料が上がってきているので受注単価が厳しく、採算割れの状況である。

	不動産業（管理担当）	受注量や販売量の動き	・建物管理の業務が新たに増えたものの、従来から管理を行っていた取引先のグループ会社のため、同じビルの業務の年間頻度を落として、減少分を新規業務の回数に振り替えることとなり、トータルでは変化がない。	
	新聞販売店〔広告〕（総務担当）	受注量や販売量の動き	・チラシ出稿量が半年ぶりに前年を上回り、102.7%となったが、内容は創業の周年に当たった大型店が2店、新規開店が1店などで、回復傾向と見るのは早計とも思える。	
	経営コンサルタント	取引先の様子	・食品小売業、食品製造などはやや持ち直したが、飲食業がまだ思わしくない。消費税増税後の反動減からはやや回復したが、まだ十分でない。一方、物流や製材など建設関連には業況が安定しているところもある。	
	司法書士	受注量や販売量の動き	・一進一退を繰り返していて、3か月前と比べてやや良くなっているというところまではなかなか言い切れない。	
	社会保険労務士	取引先の様子	・売上が多少伸びても、材料費などの経費が上がっているで利益に結び付かない状況である。	
	その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・引き合い、受注量共に特段の変化は見られない。	
	やや悪くなっている	一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・細かな引き合いはあるものの、受注量は大幅に減少してきており、対応に苦慮している。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・家庭用の換気扇を製造している会社に部品を納めており、例年であれば9～1月は繁忙期で夏と比べて大体倍くらいの生産をするが、今年はどうしたことが反対に夏よりも少なくなり、かなり落ちている。例年と比べて5割減くらいになる見込みである。
		その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・年末用商材の受注は相変わらず低調で、催事しても来場客が減少しているため盛り上がり欠ける状況である。
		不動産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・ビルの清掃管理の頻度が少なく受注されるようになってきている。
	悪くなっている			
雇用関連	良くなっている			
(北関東)	やや良くなっている	-	-	-
	変わらない	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・食料品や衣料等の小売販売業の募集は相変わらず出ているが、製造業等の募集はかなり少なく感じる。夏物衣料は買い控えがあり、冬に向けて少し補充する程度で、依然として厳しい状況である。ガソリン等の燃料価格も上がったままである。暮れに向けての物流の動きで、運送関係の運転手募集が出ている。
		人材派遣会社（管理担当）	求人数の動き	・派遣求人の増えた企業と減った企業が同数で変わらない状況である。夏に伸びる麺類の製造派遣も天候の影響で変わらなかった。
		人材派遣会社（営業担当）	周辺企業の様子	・中小零細企業の賞与や残業が減っている。
		人材派遣会社（支社長）	雇用形態の様子	・アルバイト、パート、契約社員などでの雇用形態ではなかなか人が集まらないので、企業が正社員求人へと募集形態を変えてきている。各企業の採用担当者の話を聞くと、正社員と書いた途端に反応があったというところもある。
		求人情報誌制作会社（経営者）	求人数の動き	・求人募集をしているのはいつも同じ企業で、9月は有料の求人誌などに募集を掲載する企業は減少している。
		学校〔専門学校〕（副校長）	求人数の動き	・例年に比べ正社員として雇用する求人数、求人企業数共に増えている。パートの求人数も増えてきているが、それに対する新卒希望者は激減している。
	やや悪くなっている	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・今まで3か月前までは忙しかったが、これから3か月は仕事がなくなり暇になる予定である。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・管内の主要産業である小売業の求人数減少が著しい。消費税増税の影響が出ているようである。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・前年比で求人数はプラスであるものの、求人倍率が徐々に低下している。
	悪くなっている			